WIN/LPTが提携を発表（2020年10月22日、カナダ・ウォータールー市）

ウォータールーナノテクノロジ研究所(Waterloo Institute for Nanotechnology, WIN)は、日本のアクセラレーターであるLanding Pad Tokyo (LPT)と、ウォータールー大学発のテクノロジーを日本市場に紹介することで連携する。 .

「この連携の目標は、ウォータールーの企業が、日本企業とのパートナーシップを通して、アジア市場に参入し、新技術の研究開発を加速化することです。」と、WINのExecutive Directorシュシャンタ・ミトラ博士は語る。

「カナダのスタートアップが、日本の大企業に直接にアクセスことは難しいです。LPTの会員企業は、カナダのスタートアップ企業と連携して、その技術をさらに開発し、顧客としての大企業に売り込むことができると言う理想的な立場にあります。」LPTのExecutive Director である加藤聖隆博士は語る。「さらに、LPTのサービスは、東京首都圏に限りません。全国の地元ハブと協力関係を築くことにより、日本全国に会員を広げており、ウォータールー企業にさらに有益な機会を提供しています。」

カナダのナノテック会社を助けるこの関係を顕著に表す一例が、ウォータールー大学からスピンアウトした半導体搭載型超小型顕微鏡を製造するICSPIだ。同社は、ラーファット・マンスール（Raafat Mansour）教授（WINのメンバーで、電気・コンピューター工学部教授）が率いるCIRFE (Center for Integrated Radio Frequency Engineering)ラボラトリーからスピンオフした。WINとLPTのパートナーシップを通して、ISCPIは、兵庫県に本拠をおく電子装置製造会社、株式会社ニッシンと、新しい産業用計測器を開発するために協働している。

ウォータールー大学のウォータールーコマーシャリゼーションオフィス(Waterloo Commercialization Office, WatCo) は、WIN、LPTと連携して、より多くのWIN関連スタートアップ企業にこのような機会提供を加速化しようとしている。

「WINとLPTの関係は、2020年1月にカナダ大使館がアレンジしたイベントで加藤博士と出会ったことから始まりました。」WINの事業開発マネージャーを務めるオレグ・ストゥカロフ博士は言う。「コロナ禍のために、元々計画したように加藤博士がWINに訪問することはできませんでしたが、バーチャルでフォローアップミーティングを行いました。協力覚書（MOU）が、2020年4月に締結され、すでにナノテクノロジー会社2社が、日本企業と協働し概念検証を行っています。さらに、WON/WatCoとLPTの間で、定期的なマッチングの機会を企業に提供しています。

WINとその関連スタートアップ企業は、国際ナノテクノロジー総合展に、カナダ団のメンバーとして、JPTと協力し参加する。COVID-19による制限があるため、同イベントへはバーチャル参加となる。同イベントは、2020年12月9日から11日に開催され、この新しいパートナーシップをさらに強化するものになるだろう。